



理念 (案) 検討の主要要素 (策定の方向性から抜粋)

新たな基本構想・基本計画 (仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040

【なりたいまちの姿とまちづくりの方向性】

①	なりたいまちの姿	ここでの成長がカタチになるまち
	まちづくりの方向性	子どもと共に成長し、幸せを感じることができる
②	なりたいまちの姿	わたしの“ココチよさ”がかなうまち
	まちづくりの方向性	ちょっといい環境の中で、ちょっといい暮らしができる
③	なりたいまちの姿	誰もがホッとできるまち
	まちづくりの方向性	人と人がつながりながら、多様な価値を尊重し合うことができる

市民アンケート結果 (抜粋)

地域における助け合い・ 支え合いの意向	近所付き合いの程度と 住民同士の協力関係	地域活動やボランティア 活動の参加状況	地域生活における 困りごとの状況
地域に頼みたい事がある人の割合及び、地域のためにできることがある人の割合はいずれも8割を超えていることから、地域における助け合い・支え合いの意向は高いと考えられる。	近所付き合いをしていない人は約1割となっており、そのうち約6割の方が今後の近所付き合いを希望している。また、住民同士の協力関係は過半数の人が必要と感じている。	地域活動やボランティアに参加している方は約3割であり、参加していない理由は「忙しいため」が最も多い。参加しやすくなる条件は、「家の近く」「ともに活動する仲間や友人」「わずかな時間」という回答が多い。	市民の困りごとの状況について、健康、子育て、介護、経済、住まいの5項目で、1項目でも困りごとがある方は約6割、2項目以上ある方は約3割となっている。家族がひきこもりの状態にある方は3.1%である。

タウンミーティング・ワークショップ等の懇談会や審議会委員からの意見

【タウンミーティング・ワークショップの主な意見】

タウンミーティング 【住みたいまちの姿】	・顔が見える、つながりと交流のまち ・地域の「輪」を強めて皆で子育てできるまち ・町田の良さを活かした、人と人がつながれるまち ・3世代で住みやすい働く場やコミュニティがあるまち ・たくさん子どもと元気な高齢者がつながるまち ・人がつながり、自然が豊かで、みんなが安心して暮らせるまち ・大人も子どもも居場所があるまち ・何でもありでなく、子どもが安心して出かけられるまち
高校生WS 【目指すまちの姿】	・いろいろな学べる場所、人との触れ合いの機会があるまち ・子ども自身が、施設がある事を知れるまち チャンスをつかみやすい
大学生WS 【住みたいまちの姿】	・人と人、場所と場所のつながりが濃いまち ・町田のほこり3A(あんじん、あんぜん、あつたかい)
無作為抽出WS 【参加者が考える「2040 なりたい未来」】	・家族をこえたつながりがつくるみんなにやさしいまち ・子供が誇れる支え合いのまち ・スポーツ、文化、芸術全世代参加型「遊好都市」町田

【地区別懇談会の主な地区のテーマ】

2019年度 地区別懇談会	・安心安全のまちづくりに向けた住民同士のつながりづくり ～防災マップづくりに向けたまち歩き～ ・ふるさと玉川学園・南大谷～ご近所同士でできる支え合い～ ・誰もが気軽に集える地域の居場所づくりについて ～わがまち知ろうマップ・作っちゃいました～ ・大好き鶴川！みんなが交流できるまちづくり ～みんな集まれ！地域のイベント情報大集合～ ・多世代交流の場づくり～子どもが輝けるまちづくり～ ・地域住民が支え合うしくみづくり ～相原人材BANKの設立に向けて～
------------------	---

【審議会委員からの意見】

未来の町田の 福祉・地域活動 がどのようになっ ていたら良いか	子育てについて(楽しいことも悩んでることも)を気軽に話せる場 部活のような学校単位ではないスポーツや文化交流の充実 各地区に世代を超えて楽しく触れ合えるいろいろな趣味やスポーツのクラブ設置 ひとり暮らしの高齢者同士が支え合うしくみづくり
--	---

タウンミーティング等・
懇談会や審議会委員
の意見から抽出した
キーワード

- ・つながり・交流
- ・みんな、誰も、
多世代
- ・支え合い
- ・安心安全
- ・場所

現状から見えた課題

課題ア 地域との多様ななかかわり方があある中、「自分ゴト」としての地域活動への参加を増やす	策定の柱① 今を生きる自分に合った つながりづくり
課題イ 個人の「やりたいこと」「できること」と、地域のニーズとをマッチングすることでより多くのつながりを創出する	多様なライフスタイルや価値観がある中で、時に人々が集い、支えあうことのできる、ホッとできるつながりを作ります。
課題ウ 市民、企業、行政が一体となるプラットフォームを構築することで新たな活力を生み出す	策定の柱② つながりの力が生み出す イノベーション
課題エ 地域活動と公的支援機関の連携体制を構築することで地域の困りごとを早期に把握する	つながりがホッとな力を発揮できるよう、市民・企業・行政がタッグを組んで協働し、新たな活力を生み出します。
課題オ 平時から地域で避難行動要支援者に対してサポートする仕組みを構築することで災害発生時に地域で協力し合うことが可能になる	策定の柱③ ワンチーム体制による 相談・支援
	地域が相談しやすいよう行政の各分野が横断的に連携し、相談機能の強化・支援内容の充実をはかります。困っている人をホッとさせません。

(仮称) 町田市地域ホッとプランの理念 (案)

地域でささえあい

誰もが自分らしく暮らせるまちだ

(参考) その他の案

- ・地域でささえあい誰もがホッとできるまちだ
- ・「互いにささえあい、自分らしく、くらし続けていくことができるまちを目指す」～「地域」のつながりをつくりなおす～
(第3次町田市地域福祉計画基本理念を継承)

基本理念（案）：地域でささえあい誰もが自分らしく暮らせるまちだ

近年では、人口減少に伴う人口構造の変化だけでなく、テクノロジーの急速な進展による人と人とのコミュニケーション方法の変容、新型コロナウイルス感染症の流行を契機とした新しい生活様式への転換などを受け、市民のライフスタイル・価値観は大きく変わろうとしています。また、地域ではコミュニティの希薄化が進むとともに、従来の公的支援では課題の発見や解決が困難な問題に直面する機会が増えてきており、これまで以上に人と人とのつながりやささえあいの必要性が高まっています。

そのため、本計画の基本理念を「地域でささえあい 誰もが自分らしく暮らせるまちだ」とし、様々な主体がそれぞれに合った形でつながり、そこで生み出された活力をもとに、地域課題の解決に取り組めます。そして、年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、誰もが身近な地域でささえあい、自分の役割や活躍の機会を得られ、自分らしく暮らすことができる、そんなまちの実現を目指します。

※矢印は基本目標が達成されたときに他の基本目標に与える効果

基本目標①

今を生きる自分に合ったつながりをつくる

多様なライフスタイル・価値観が存在する現代においては、人と人のかかわり方、つながり方についての考えも人それぞれです。近隣の協力関係など、地域でのつながりについて必要と感じている方は多いものの、「自分ゴト」としての地域活動への参加率は低くなっています。時とともに変化するつながりの中で、多様化する市民の価値観に合った地域活動への参加のきっかけづくりを行います。

基本目標1が達成されたときの町田市のイメージ

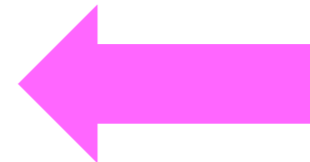
- ・地域活動に参加する市民が増えています。
- ・市民が地域のつながりのなかで、自分らしく暮らしています。

基本施策（仮）

- ・市民の「やりたいこと」「できること」と地域で活動する場のマッチング
- ・地域活動に参加したい人に対する活動機会の創出
- ・地域における交流・居場所づくりの活性化 など



地域活動への参加者が
増えることで団体の活
動の充実につながる



地域活動の幅が広がる
ことで、参加機会の創
出につながる

基本目標②

つながりで地域の活力を生み出す

行政や地域で活動する団体が単独では解決できない課題に対応するためには、市民・企業・行政などの様々な主体が連携し、共通のビジョンを持って取り組むことが必要です。様々な主体が強みや特性を相互に理解したうえで、新たな解決手法を生み出せるよう、連携体制の構築や持続可能な地域づくりを進めます。

基本目標2が達成されたときの町田市のイメージ

- ・様々な主体が地域の目指す姿や資源を共有し、それぞれの役割を理解しながら協力して活動しています。
- ・地域の魅力向上のため、また課題解決のための新しい取り組みが創出されています。

基本施策（仮）

- ・地域のネットワーク強化
- ・様々な主体が資源や情報を共有し、連携する体制の構築 など

基本目標③

必要な人に必要な支援が届く仕組みをつくる

「ダブルケア」や「8050問題」など、個人や家族が抱える課題が複雑化・複合化している中で、必要な支援につながることでできない人に対する取り組みが求められています。

困りごとを抱える人を必要な支援につなげられるよう、行政の各分野が横断的に連携し、相談支援機能の強化を図ります。また、地域とともに、困りごとを抱える人を早期に発見し、必要な支援を行います。

基本目標3が達成されたときの町田市のイメージ

- ・複合的な困りごとを抱える人が、身近な相談機関でまとめて相談できています。
- ・困りごとを抱える人が、一人一人の状況に応じた支援を受けられています。
- ・個人や家族が抱える問題が早期に発見されています。

基本施策（仮）

- ・包括的な相談支援体制の構築
- ・生活に困難を抱える人への支援
- ・福祉サービスの質の確保
- ・福祉に関する情報提供の充実 など

人と人とのつながり
から個人や家族の困
りごとが発見され、
相談支援へ早期に
つながる

個人や家族の困りごと
が解決され、地域活動
への参加につながる

地域のささえあい
活動を、バックア
ップできる体制に
つなげる

支援に必要な地域
の場所や活動等の新た
な社会資源が生まれる